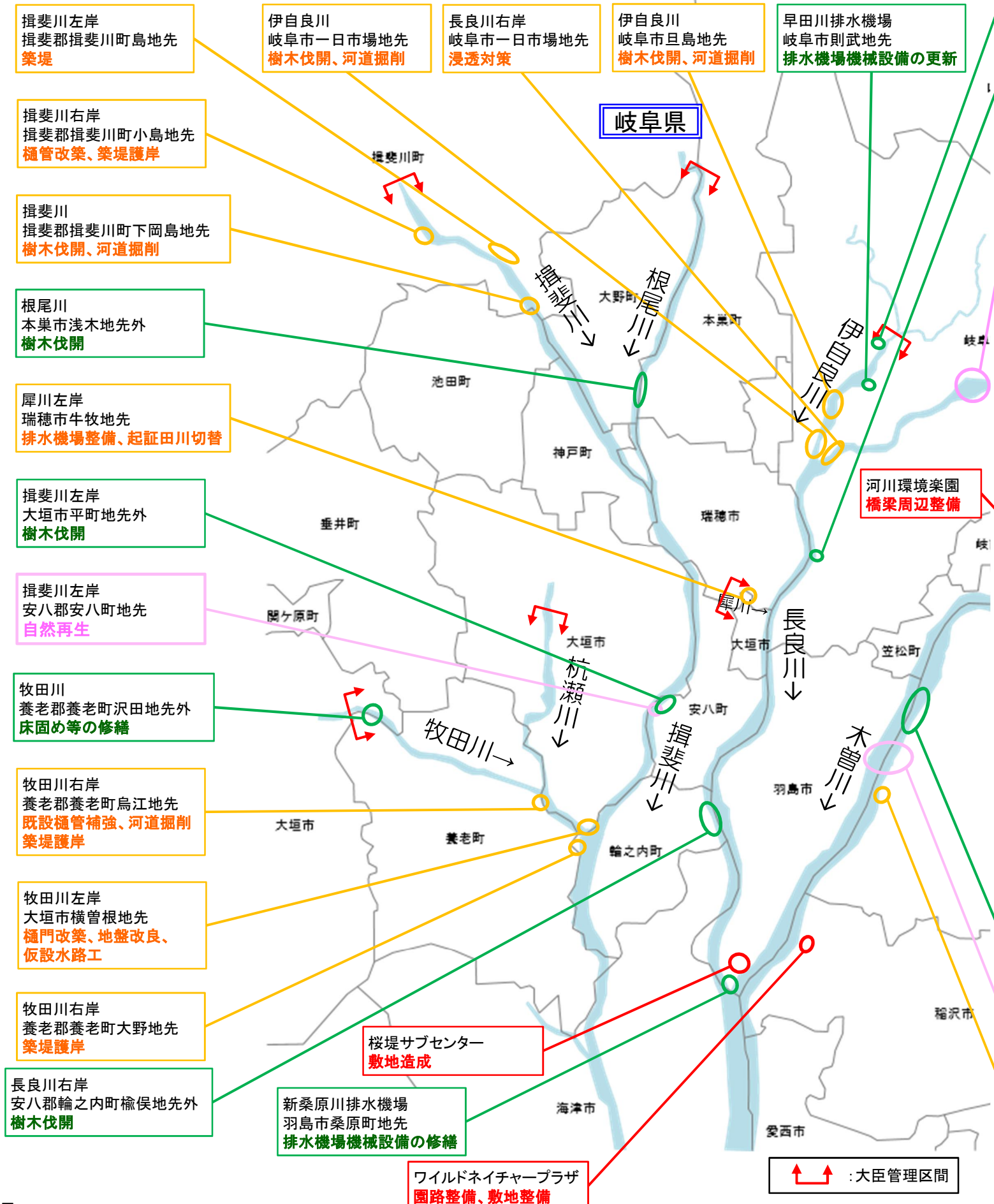


5. 令和6年度の事業位置（改修・維持・環境・公園）

洪水による災害発生の防止及び軽減のため、各河川において対象とする戦後最大規模の洪水が発生しても安全に流下できるよう築堤や護岸、河道掘削、樹木伐開、樋門改築等の整備や施設の維持修繕を推進し、治水安全度の向上を図ります。



【凡例】

R6河川改修

R6維持修繕

R6環境整備

R6木曾三川公園



新堀川排水機場
岐阜市折立地先
排水機場機械設備の修繕

荒田川論田川第二排水機場
岐阜市高河原地先
樋管の修繕

長良川左岸
岐阜市鏡岩地先
水辺整備

長良川右岸
岐阜市日野地先外
樹木伐開

長良川右岸
美濃市地先
遊水地整備

長良川右岸
関市池尻地先
遊水地整備

木曾川左岸
可児市土田地先
樹木伐開、河道掘削

加茂川排水機場外
美濃加茂市外
排水機場等の遠隔監視・操作化

日野揚排水機場
岐阜市日野地先
排水機場電気設備の更新

木曾川
丹羽郡扶桑町小牧地先
樹木伐開、河道掘削

木曾川右岸
各務原市川島松倉地先外
樹木伐開

木曾川
各務原市下切町地先
樹木伐開、河道掘削

木曾川
江南市鹿子島地先
水制工修繕

フラワーパーク江南
園路舗装、張芝

木曾川南派川右岸
各務原市川島松原地先
護岸修繕

木曾川左岸
一宮市北方地先
護岸修繕

木曾川
一宮市北方地先
樹木伐開、河道掘削

138タワーパーク
空調設備更新

木曾川左岸
一宮市木曾川地先外
樹木伐開

木曾川左右岸
一宮市玉ノ井地先外
自然再生

木曾川左岸
一宮市小信中島地先
樋管改築



◆令和5年6月に被災した一宮市北方地先にて再度災害防止対策として、**護岸修繕工**を実施。

◆ 河道の二極化対策

河川改修により洪水に対する安全性を高めてきました

木曾三川では、長良川の堤防が決壊した昭和51年9月洪水をはじめ、幾度となく洪水に見舞われ、甚大な被害が発生してきました。このような中、堤防整備、河道掘削などの河川改修を実施し、洪水に対する安全性を段階的に高めてきています。

長良川においては、昭和51年9月洪水より平成16年10月洪水の方がピーク流量としては大きいですが、河川改修等による水位低下効果により、墨俣地点での最高水位は、約1m低い結果となっています。



▼長良川における治水効果

| | ピーク流量 (忠節地点) | ピーク水位 (墨俣地点) |
|------------|---|-------------------|
| 昭和51年 9月洪水 | 約6,400m ³ /s | 約7.4m |
| 平成16年10月洪水 | 約7,700m ³ /s (約+1,300m ³ /s) | 約6.3m (約-1.1m) |

※かつこ書きは昭和51年9月洪水との差分

河道の二極化が顕在化しています

長年にわたる堤防整備や河道掘削などにより、洪水の流下能力を拡大してきた一方で、植生の繁茂等による河道の二極化が顕在化しています。

河道の二極化とは、砂州上に細かい土砂が堆積する一方で、みお筋(普段水が流れているところ)の深掘れが進み、砂州とみお筋の河床の高低差が過度に大きくなる現象です。

河道の二極化が進行すると・・・

河道の二極化は、今後さらに進行していくおそれがあるとともに、次のような問題が生じると想定されます。

- ①砂州の樹木繁茂が進行し、洪水の流下を阻害
- ②みお筋の河床が過度に低下し、構造物が不安定化
- ③砂礫環境が消失するとともに、多様性に富んだ水際環境が失われる

二極化対策の目的(目指すべき河川のすがた)

二極化の進行による悪影響を少しでも減らすため、以下を目的に、二極化の緩和に向けた取り組みを進めていきます。

【治水】

- 砂州上の細粒土砂の堆積、みお筋の過度の洗掘を抑制し、洪水時の流下能力及び構造物の安定性を確保

【環境】

- 河川が本来有している多様性に富んだ水辺環境の保全・再生

令和5年度の取り組み

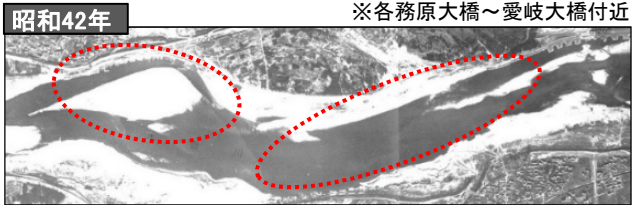


樹木伐開(木曾川右岸49.6k付近)

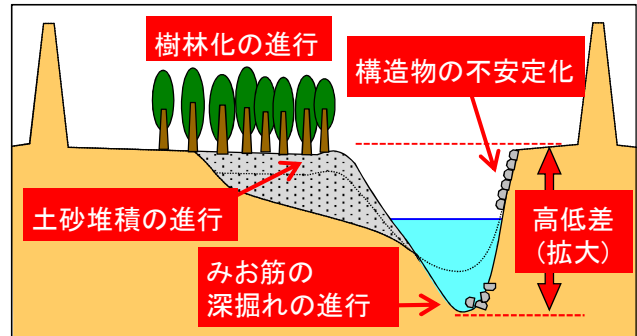


玉石の補充(木曾川右岸54.6k付近)

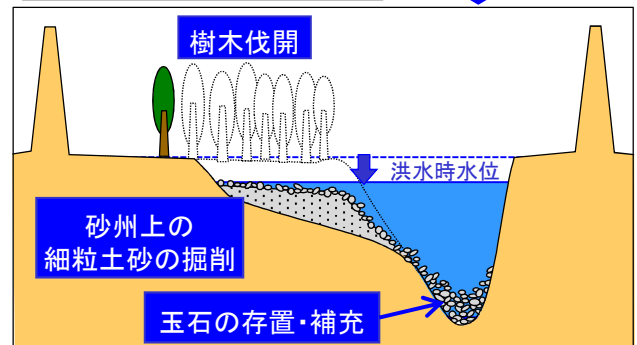
▼二極化の進行状況例(木曾川51.4k付近)



▼二極化の進行イメージ



▼二極化対策の実施(試行)後

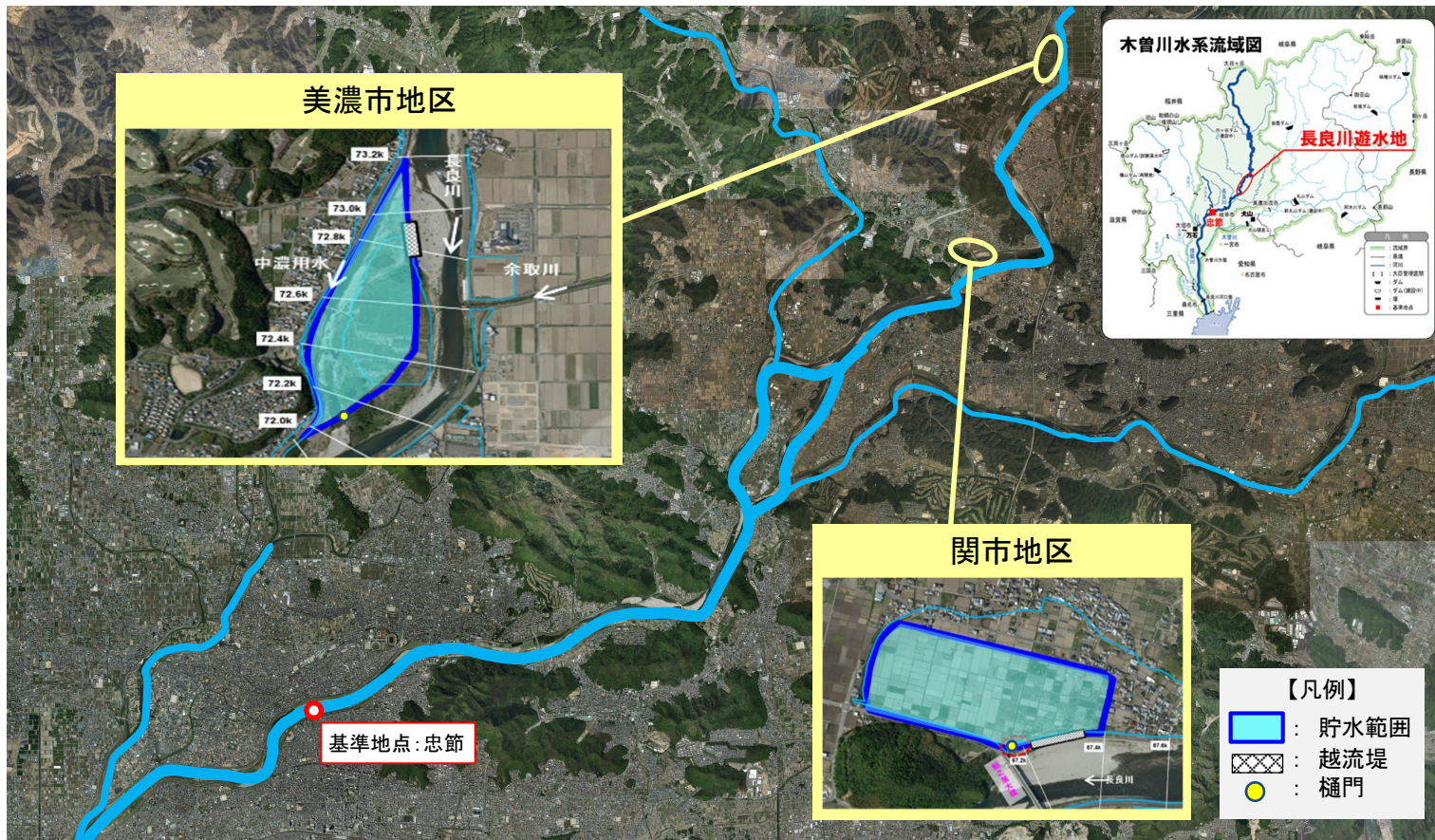


自然の営力を活用しつつ河川のあるべきすがたを目指します

◆ 長良川遊水地事業

- 遊水地とは、遊水地地点から下流にかけて全川の洪水対策効果を発揮する施設。
- 美濃市地区については、令和3年4月、関市地区については、令和6年1月に大臣管理区間に指定。
- 長良川遊水地は、戦後最大規模の洪水に対し、遊水機能を活かした洪水調節施設として整備。

※木曽川水系河川整備計画(平成20年3月策定、令和2年3月変更、遊水地による洪水調節量200m³/s)



◆ 木曽川上流特定構造物改築事業（新水門川排水機場）

- 木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)は、昭和36年6月豪雨と同規模の降雨に対し、床上浸水被害の防止(床上浸水被害約4,200戸解消)を図ります。
- 本事業は、令和3年度より事業化し、用地取得を実施。
- 令和6年度は、樋門改築、地盤改良、仮設水路工などを実施。

国・岐阜県が連携し、新水門川排水機場と牧田川左岸堤防を一体的に整備します。

